

地域  
TOPICS

活動日誌

阪急西院駅の  
バリアフリー化進む

長年の住民運動でエレベータ実現



地域の安心安全に取り組む

御室で治安の悪かった府営住宅跡の壁を撤去



住民合意で  
七条通の早期拡幅を

すみよい西京極をつくる会とともに事業化を要求

若者の応援、すべての中小企業の支援を



若者とともに京都市内の大学や街頭でのアンケート調査に取り組み、ブラックバイト根絶と府独自の給付制奨学金の実現を府議会で訴えてきました。その中で、府や市、労働局などでつくるブラックバイト対策協議会が発足し、アンケート調査など取り組みが始まっています。8時間働けば暮らせる社会に向けて、最賃1500円の実現、正規雇用の拡大に力を尽くしています。

7割の中小企業が赤字経営を余儀なくされているもとの、すべての中小企業を支援する基本条例の制定や設備投資・商品開発などへの補助制度の拡充などを強く求めています。

安心して子育てできる社会へ

子どもの医療費無料化を求める子育てママの運動と連携し、府議会で一貫してその願い実現を主張。ようやく「充実する」方向が打ち出されました。全員制の温かい中学給食の実現や、待機児童の解消へ認可保育所の増設と保育料無料化の実現を訴えています。

米軍レーダー基地の撤去、  
原発ゼロをめざして



米軍がレーダー基地外を違法に掘削していた問題では、市民や国会議員団とともに調査追及し、謝罪・原状回復させました。今、ドクターヘリ運航のための停波要請を拒否していた問題で、命を軽視する暴挙として、米軍、防衛省に厳重に抗議し基地の撤去を要求してたたかっています。

高浜原発、大飯原発の再稼働は、重大な過酷事故のおそれや避難対策が出来ていないもとの断じて許されません。府議会で度々再稼働に反対し、原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換を求めて論戦しています。

人の痛みをわがこととして

府会議員6期目、日本共産党府会議員団の副団長として、「人の痛みをわがこととして」を信条に、市民との共同を広げ、切実な暮らしの願いの実現、市民に役立つ京都府政に転換するために全力をあげています。7期目をめざし、みなさんにお役に立てるよう力の限りがんばる決意です。ご支援よろしく申し上げます。

profile：和歌山県那智勝浦町出身、立命館大学卒。現在、府会議員 6 期、府会議員団副団長、総務・警察常任委員、エネルギー政策特別委員、森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会京都府本部委員長、京都障害児者の生活と権利を守る連絡会常任委員。妻と二人暮らし。趣味は卓球。

<http://kamine-shirou.jp/> f t

日本共産党府会議員

かみね 史朗

府会

